

# 甲冑と日本画 むしゃんよか

熊本市で「島田美術館展」

## 所蔵品紹介 元館長・真祐さん悼む

島田美術館（熊本市西区）所蔵の書や絵画、甲冑などを紹介する「島田美術館展」が17日、同市中央区の肥後の里山ギャラリーで始まった。昨年11月に亡くなった元館長・島田真祐さんの追悼も兼ねている。来年2月2日まで。入場無料。



日本画と甲冑の“コラボ展示”などが並ぶ「島田美術館展」＝熊本市中央区

宮本武蔵の二刀流の姿を描いた県重要文化財「宮本武蔵肖像（江戸時代前期）」をはじめ、武蔵所用の刀、細川幽斎や徳川家康の書状など25点を展示。源平合戦を描いた江戸初期の屏風の前には平家琵琶と越前琵琶が並べられ、合戦を伝える語りや首色を彷彿とさせる。

日本画家で崇城大芸術学部長の中村賢次さんが阿蘇山の噴火を描いた2点の日本画の前には、江戸時代の甲冑を置いた。昨年7月、中村さんの作品を見た島田さんが「この前に甲冑があるとむしゃんよかろうな」と、生前から「コラボ展示」を希望していたという。

島田美術館の館長代理・清川真潮さんは、「新旧の文化の出合いの場となった展示を通じて、島田美術館が価値ある古美術を伝えていくことを感じてほしい」と話している。

（飛松佐和子）